

祝！卒業

令和6年 3月19日



卒業おめでとう

中学教頭 藤島 秀成

先般発行された協創通信に、協創中学校第3期生の皆さんに向けたお祝いの言葉を掲載させていただきましたが、改めて本紙を通じて皆さんの門出を祝福したいと思います。

皆さんが入学した3年前は、協創中学3学年が4号館での生活をスタートさせた年です。「新しい校舎に命を吹き込もう」という合言葉のもと、皆さんは様々な活動に取り組んできました。その中でも、特筆すべきは3年間の活動の変化でしょう。生徒自治会活動が飛躍的に活性化し、隔週で行われる中学集会の運営は生徒自治会が中心になって行い、個々の活動も活発になってきました。

例えば、入学してすぐの探究活動で取り組んだ、社会課題の克服に向けた赤木くんの動画「STOP 煽り運転」では、1年生の作品とは思えないほどの構成とクオリティで煽り運転防止を啓発し、グローバル・イノベーション・リーダーに向けてのスタートをきりました。



X「STOP 煽り運転」

2年時には、地域の方へのインタビューを通して、企業や商店との連携に弾みをつけ、探究力の

定着を実感しました。3年時のサーバント型リーダーを目指したリーダー研修では、これまで培ってきたリーダーシップのスキルを更に磨きました。皆さんの積極的な参加とリーダーシップの示し方は、学校全体の雰囲気にも大きな影響を与え、そのリーダーシップが、チームワークを強化し、共に目標に向かって努力する大きな集団の支えとなりました。また、卒業を目前にニュージーランドへ中期海外留学に参加している国本くんからは、新しい視点や経験がもたらす貴重な報告が届いています。地域から世界へと大きな一歩を踏み出した生徒が、新たな価値観をもたらせてくれることでしよう。

卒業を迎える今、私たちは皆さんの未来に大きな期待を寄せています。皆さんが築いてきた経験と価値観を胸に、新たな一歩を踏み出してください。皆さんの素晴らしい未来を祈念しています。

「もっともっと『貯金』をしよう！」

中学主任 折田 大輔

中学3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。

私がみなさんの前で初めてきちんと話したのは、確か中学2年生の似島だったと思いま

す。そこで話したのは、「自分に『貯金』をしよう」ということでした。ここでいう『貯金』とは、お金を貯めることではなく、『経験』を貯めるということでした。いろいろな検定取得はもちろ

ん、「このゆび止まれプロジェクト」の参加などもこれに含まれます。また、みなさんはシंगाポールやマレーシアでも、とても貴重な経験をしました。これらすべては今後自分の中からなくなることのない大きな財産です。今後も、いろいろなところにアンテナを張って、自分自身にしかできないさまざまな経験を積み、どんどん『貯金』をしていってほしいと思います。その貯金が、いつか必ず自分の今後の未来に使える日が来ます。いつか必ず自分の切り道を開く材料になります。これからもみなさんの周りに差し出されたゆびにどんどん止まって、自分の『貯金』を増やしていただく。期待していますし、応援しています。

「卒業おめでとう」

3年A学級担任 木坂 啓亮

”例え明日、世界が滅亡しようとも私はりんごの木を植える。”

これはドイツの宗教家、ルター言葉です。明日世界が終わるといふのに、りんごの木を植え

ることは果たして愚かなことでしょうか。それよりも何気ない日常に心の平和を保つこと、見返りや成果ばかりでなく将来の希望を育てる行為そのものが素晴らしい喜びに満ちていると思います。これから先の人生は君たちが前に進もうとするほど選択肢が広がり、多様な人々との出会いがあります。だからこそブレることのない自分自身に加えて、日々発展を遂げる時代に合わせて自分自身をアップデートしていくことも必要になるはずですよ。中学課程の修了にあたり、普段の私の姿からは想像もつかないような真面目な事を書いてみましたが、皆さんは協創中での学校生活を経て多くの力を身につけることができていると思います。これからも自分の信じる道を突き進んでくれることを期待し、応援しています。

3年間ありがとうございました。

「卒業おめでとうございますー!」

3年A学級 副担任 福田 佳恵

この節目を迎えるにあたり、心からのおめでとうーと、お祝いの言葉を贈らせていただきませう。

授業でもお話しさせていただいたことがあります。授業でもお話しさせていただいたことがあります。自

のためにも、自分の夢を見つけてください。そして早くスタートを切り、一步一步着実に歩みを進めてください。立ち止まったり、後戻りしても大丈夫。夢はあきらめなければ必ず叶います。明るく仲間思いの皆さんにはたくさん感動をいただきました。皆さんの明るい笑顔は幸せを引き寄せます。これから次のステージへ進んでいく中で、つらいときや苦しいときもあると思いますが、笑ってください。失敗もいつかは笑い話になり自分の価値を高めるものへと変わっていきま

「繋」

3年B学級 担任 西林 渚

中学3年生のみなさんご卒業おめでとうございます。

みなさんの元気な姿や、明るい笑顔は周囲を自然と照らしていたと思います。

私は大人になるまで、たくさんの人との繋がりに支えられて道を選択してきました。そして、大人になった今でも支えられています。これからもこの繋がりを大切に、感謝の気持ちを忘れ

ず、私自身も成長することで恩返しになると考えています。

これからみなさんは高校生活で更に多くの人と関わる時間が増えます。人と関わる時間が増えると、それだけ自分自身と向き合う時間も増えていくことでしょうか。迷うことや嫌なことがあっても時間が経って振り返ってみると「なんでもなかったな」と感じることも多いです。自分を大切にすることが他者を大切にすることにもつながります。

なりたい自分を見つけ、他者を大切にすることを忘れず、これからもたくさんの人たちを笑顔にしてください。

「今日も頑張っていきましょう!」

3年B学級 副担任 井上 裕介

3年生のみなさん、ご卒業、おめでとうござい

私は、副担任として、朝の「読書」と「SHR」に参加させてもらっていました。担任の西林先生は誰よりも早く、教卓の席に着いて静かに読書を始められました。その姿に一人、二人、三人と続くように、「朝の読書」がスタートするのです。

そして、そのあとのSHRの終わりには、先生は必ず元気な明るい声で、「今日も頑張ってい

ましよう!」という言葉で締めくくっておられました。教室の1日のスタートは、この一声で始まるといってもよいでしょう。

このように日々教室を明るくスタートさせる西林先生は、学生時代から強豪校のソフトボール部の主将、また名捕手として活躍されていたという一面を持っておられます。先生の朝のこの一声は、まさに守備に着いたチームメートの集力を高め士気を鼓舞する、守備の要である捕手のようなものだと思っていました。

もう一つ、「朝の元気」をもらったお話を紹介します。ある寒い日の朝、その日体調が優れず学校に到着した私は、息を切らして玄関口の靴箱の前を通りかかったときに、ある3年生の生徒Aさんと出会い、「おはよう」と挨拶を交わしました。と、次の瞬間Aさんは、私の顔の前に、高々と右手の掌をこちらに向けました。「ハイ・タッチ」を要求するしぐさだったので、私は気づくと右手の荷物を左手に持ち替えて、Aさんと「ハイ・タッチ」をしていました。おそらくAさんは、私の様子を見て元気つけてやろうと思って出た行為だったのでしょう。笑顔で、この1日の始まりに交わした、思わぬ「ハイ・タッチ」による掌の

温もりは、私を元気づけてくれるものとなりました。60歳の私が、15歳のAさんに励まされたというお話です。

少しの気づかいや思いやりが、相手にとっては忘れられないような温かい気持ちや素敵な思い出になったりします。みなさんが、これからの様々な人生経験を経ていく中で、人の気持ちを慮り、元気を伝えられる人になってくださるよう願っています。

「卒業おめでとうございます」

2年A学級 担任 福原 沙也香

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。さて、皆さんは中学生生活のうちに、何回物事を選択する場面がありましたか？

人生は選択の連続です。

それは日常的に簡単にできる選択と、将来にかかわるような重要な選択など様々だと思います。例えば、高校や大学進学、就職先などがあります。これらの選択は、正解がありません。だからこそ、不安な気持ちや何を選択するべきなのかに悩まされるのです。

大切なのは、どれだけその選択肢と向き合えます。決して安易な気持ちで選ばないこと。とにかくたくさん時間をかけて悩んでください。色々な情報を得て、色々な人の話を聞き、相談していきながら、「これだけ悩んだからもう後悔しないな」と思える方を選択してください。どちらの選択が正解だったのかは誰にもわかりませ

ん。自分で正解を作っていくのです。そうすれば、きっと選択した道でうまくいかなかったとしても、次の選択をする際にまたきちんと向き合うことで、きっと正解の道を導いてくれます。自分と向き合うことを恐れずに、道を切り開いていくください。

《ナポレオン睡眠》

2年A学級 副担任 新本 弘司

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。

中学2年生の時、副担任として国語も担当しました。とてもバイタリティーがあり、個性的な生徒が多かったですね。

将来に向け高い目標を持ち、「三国志」などの話の出来る中学生に感心しました。3年生になり国語の担当ではなくなりましたが、良く懐かしい思い出話もしました。皆さんのたくましい成長を大変嬉しく思います。高校でも「自己実現」に向けて頑張ってください。授業中にも話した《ナポレオン睡眠》を餞の言葉とします。

フランスの皇帝ナポレオンは、多くの遠征を重ねフランスを偉大な国にした英雄です。その彼が、偉大な事業を成すのに睡眠時間は平均4時間だったと言われています。寝ていて馬から落馬したり、立ったまま寝ていたり、いくつものエピソードが残っています。実行したらもしかしたら貴方も今の2倍の人生を歩むことができるかもしれませんね。先生は大学時代にこの本と出会って、時間の使い方の大きな転機になりました。「忙しい」「時間がない」という前に、自分で時間を作り出す努力をしてみましょう。大きな夢がある人は是非実践してみてください。

皆さんの前途洋洋たる未来を祈念しています。

「かけがえのないもの」

2年B学級 担任 森 貴博

ご卒業おめでとうございます。私から伝えたいことが2つあります。

一つ目は、挑戦し続けることです。

みなさんは、入学して間もなくコロナウイルスが流行し、中々通常の学校生活も送ることができず苦しい時期を過ごしてきたと思います。それでもそうした困難を何とか乗り越えて、日々の学習はもちろん、様々な行事や課外活動にも果敢に挑戦し、大きく成長することができました。そうした取り組みや姿勢は、下級生にとっても大きな刺激になっています。高校生になっても、そうした挑戦する気持ちや姿勢を忘れず、成長し続けて立派な大人になってください。

2つ目は、出会いを大切にすることです。これまでの約15年間たくさんの出会いがあっ

たと思います。特に、この協創中で出会った仲間とは、3年間色々な苦楽を共にしてきたはずですが、楽しいことは共有できても、苦しいことを自ら望んで共有しようと思う人はいないと思います。しかし、同じ苦しみを味わった仲間というのは本当にかげがえのない存在です。そこで得た経験は必ず今後生きてきます。

これまでの、そしてこれからの出会いを大切に、みなさんが次のステージで大きく成長できるように心より願っています。

「魔法の言葉は？」

2年B学級 副担任 松田 珠希

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。中学校3年間はどうな3年間でしたか？

授業で関わる機会は少なかったですが、元気の声や響き渡り、とても明るく快活な生徒だなと心の中で感じていました。

皆さんのご卒業に際し、私から、皆さんに一点お伝えしたいことがあります。それは「肩の力を入れすぎず頑張ってください」ということです。

私たちは人間です。時には元気が出ない、やる気が出ないなんてことがあると思います。でもそれがあっていいと私は思っています。ずっと肩の力を入れてはしんどいばかりじゃないですか？たまにはふっと力を抜くことも大切なこと

です。だからといってすべてを先延ばしにして課題をやらせない、ゲームばかりしていいというわけではありません。今日は頑張る！これだけはやって寝る！というふうにはメリハリをつけて頑張っしてほしいです。完璧を求めすぎず、「ハクナ・マタタ」「ケセラセラ」「なんくるないさ」精神でやってみませんか？私たちを助けてくれる魔法の言葉です。そして高校生活、まだまだ続く皆さんの輝かしい人生を楽しんでください。

「Love the life you live, Live the life you love.(自分の人生は自分次第)」

1年A学級 担任 大場 梨央

中学3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
3年生はいつも明るくて、すれ違うたびに元気に挨拶をしてくれたり、後輩が困っていたらすっと手を差し伸べてくれる優しさのある素敵な学年でした。私自身がそんなみんなから毎日元気をもらっていました。

これから選んでいく道で、やりたいこと、やってみようかなど悩むことがたくさんあると思います。その中で、「無理かもしれない」と感じたり、「やめた方がいいんじゃない？」と周りから言われることがあるかもしれません。「時間がな

い」「まだスキルが足りない」「お金がない」「もし失敗したら？」「将来役に立たないかも…」

一歩を踏み出そうとするとき、出来ない理由、やらない理由は簡単に浮かんできます。そんな時こそ、できる理由、挑戦する理由を探しましょう。「やった後悔よりやらなかった後悔」という言葉をよく聞きます。私自身も「やらなかった後悔」を経験したことがあります。その後悔は心にモヤモヤと残ります。今好きなこと、興味があることやそれに対する熱量が今後もずっとそうだとは限りません。ライフステージや状況の変化に伴い、興味や関心、考え方も少しずつ変化します。だからこそ、その時々の「好き」「やってみたい」という素直な気持ちを大切に、後悔のない素敵な人生を歩んで欲しいと思います。

「卒業おめでとうございます。」

1年A学級 副担任 西田 覚

中学3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。あつという間の3年間だったのではないのでしょうか。体育祭やクラスマッチでの盛り上がりは中学3年生の皆さんが一番盛り上がりていましたね。学年の団結力が素晴らしいと感じました。

今将来どのような自分になりたいか決まってい

ますか？明確に決まっている人は目標に向かって頑張っていくてください。途中で挫折しそうな

なった時は友達や周りの大人に相談しましょう。頼ることは恥ずかしいことではありません。いい解決方法をきくと見つけてくれます。また将来どうなりたいか決まっていなくても大丈夫です。目の前の課題に一生懸命取り組んでいけば問題ないです。先生も中学生の時にまさか将来教員になっているとは思っていませんでした。勉強だけでなく友達と楽しく遊ぶことや学校行事ももちろん一生懸命やってください。皆さんならできますね。応援しています。中学校を卒業するとまた新しい世界が広がっています。その広い世界の中で自分らしく活動していくってください。

「卒業とは」

1年B学級 担任 西中 伶

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業といえは自分自身の卒業を思い出しています。今までに何回か「卒業」というものを経験しています。毎回考えることは「実感が湧かない」ということです。暦の上ではそして年齢の中では区切りというものがつきませんが、自分の中には落とし込めずいつも何となくで終わっています。卒業式などの区切りに思いつき泣いて

思いつき笑える人が正直羨ましいとずっと思っていました。

教師になってから生徒たちを見送る側になり、むしろ今の立場の方がさまざまな区切りに胸を打たれる事が多いです。生徒の皆は誰よりも気持ちをを入れて行事などをこなし、何よりも周りのことを考えて行動しているからこそ、思いつき感動できるんだろうと思います。もし今自分と同じように毎日をなんとなくで過ぎてしまっている人は今からでも大丈夫です。全てのことを全力で頑張ってみましょう。どれだけ頑張っても後悔というものには残るもの。最大限振り切って、終わった後に泣いて笑えるような日々を送ってくれたら嬉しいです。改めてご卒業おめでとうございます。

